

2節 自由主義・ナショナリズムの進展

3

フランス第二帝政とイタリア・ドイツの統一



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> □ (1) ナポレオンの孫で、1852年に皇帝となった人物。 □ (2) (1) が皇帝となったことで始まったフランスの政治体制。 □ (3) 1870年から起こったプロイセンとフランスの戦争。 □ (4) (3) の戦争に敗北し、パリの民衆が蜂起して、歴史上最初にできた労働者の政権。 □ (5) (4) が2ヶ月間続いた後、1870年から1940年まで続いたフランスの政治体制。 □ (6) イタリアのサルデーニャの首相で、イタリア統一を指揮した人物。 □ (7) シチリア反乱をおさめ、ナポリ王国を征服し、その土地をサルデーニャ王に献上した青年イタリア出身の人物。 □ (8) サルデーニャ王のヴィットーリオ=エマヌエーレ2世を国王とするイタリアの統一された国の名称。 □ (9) 鉄血宰相と呼ばれた、プロイセンの首相。 □ (10) 1871年、普仏戦争ののちに成立したヴィルヘルム1世を皇帝としたドイツの国の名称。 □ (11) ドイツ統一の主導権を握れなかったオーストリアは、ハンガリーの自立を認めてこれと手を結び樹立した国家。 □ (12) (9) が主導した、フランスを孤立するために行ったオーストリア・イタリアとの同盟 | <ul style="list-style-type: none"> ナポレオン3世 第二帝政 普仏戦争 パリ=コミューン 第三共和制 カヴール ガリバルディ イタリア王国 ビスマルク ドイツ帝国 オーストリア-ハンガリー(二重)帝国 三国同盟 |
|---|--|